

医療レポート  
No.3  
取材協力 海老名総合病院  
子宮頸がんワクチンの必要性

清水篤マタニティセンター長

感染の若年化が問題視されている子宮頸がん。対策として昨年の12月から一般の医療機関でも接種できるようになった子宮頸がんワクチンについて話を聞いた。

子宮頸がんとは  
子宮がんと一口に言われますが場所も原因も全く別です。子宮頸がんは子宮の入り口付近にできるがんで、ヒトパピローマウイルス（HPV）が原因。性交渉で感染します。80%の女性が1度は感染すると言われていて、大部分は自然に消えてしまい、長く残ってしまった方が問題なのです。ただ方が見つかっても早期発見で治る病気です。

と妊娠ができなくなり、そのためにも若い世代こそワクチン接種が必要です。また20代以上でも感染の有無にかかわらず接種するのが良いでしょう。初期なら一部分の切除で済み、その後のワクチン接種で免疫をつけることもできます。

子宮頸がんは子宮の入り口付近にできるがんで、ヒトパピローマウイルス（HPV）が原因。性交渉で感染します。80%の女性が1度は感染すると言われていて、大部分は自然に消えてしまい、長く残ってしまった方が問題なのです。ただ方が見つかっても早期発見で治る病気です。

ワクチンの効果は  
ワクチンはがんを治療するものでなく、あくまで予防するものです。子宮頸がんは性交渉で感染しますの

一番接種が必要なのは性交渉前の12歳前後です。若くしてがんが発症し方が一子宮を摘出することになる

ワクチンの効果は  
ワクチンはがんを治療するものでなく、あくまで予防するものです。子宮頸がんは性交渉で感染しますの

一番接種が必要なのは性交渉前の12歳前後です。若くしてがんが発症し方が一子宮を摘出することになる

次回はお受けしています。ご不明な点は専門医にお問合せを。次回は救急外来の現状について。

3回接種で初回と2回目  
が特に重要です。当院でも毎週土曜日に1日5人までお受けしています。ご不明な点は専門医にお問合せを。次回は救急外来の現状について。

3回接種で初回と2回目  
が特に重要です。当院でも毎週土曜日に1日5人までお受けしています。ご不明な点は専門医にお問合せを。次回は救急外来の現状について。

3回接種で初回と2回目  
が特に重要です。当院でも毎週土曜日に1日5人までお受けしています。ご不明な点は専門医にお問合せを。次回は救急外来の現状について。

3回接種で初回と2回目  
が特に重要です。当院でも毎週土曜日に1日5人までお受けしています。ご不明な点は専門医にお問合せを。次回は救急外来の現状について。

3回接種で初回と2回目  
が特に重要です。当院でも毎週土曜日に1日5人までお受けしています。ご不明な点は専門医にお問合せを。次回は救急外来の現状について。

3回接種で初回と2回目  
が特に重要です。当院でも毎週土曜日に1日5人までお受けしています。ご不明な点は専門医にお問合せを。次回は救急外来の現状について。



清水センター長



海老名駅から  
無料シャトルバス運行  
海老名駅西口出て右側に停車所あります

JAPAN MEDICAL ALLIANCE  
社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス  
海老名総合病院

コールセンター(予約専用)  
☎046(234)6529 www.jinai.jp/  
海老名市河原口1320 平日 8:30~17:00/土 8:30~12:00